

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

外側後頭下開頭法による前庭神経鞘腫手術における体位と手術成績に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2012 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに昭和医科大学病院 脳神経外科で、前庭神経鞘腫に対して外側後頭下開頭法による摘出術を受けた患者さん。

2. 研究目的・方法

本研究では、前庭神経鞘腫に対して外側後頭下開頭法による手術を受けた患者さんの診療録や画像検査を振り返り、従来の側臥位またはパークベンチ体位で行った手術と、仰臥位を基本として頭部を横に向ける体位で行った手術について、手術時間、腫瘍の摘出度、顔面神経の状態、手術後の小脳の画像変化、合併症などを比較します。

この研究は、通常診療で得られた情報を用いる後方視的研究です。この研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。取得した情報は、氏名、診察券番号、生年月日など個人を直接識別できる情報を削除し、研究用の番号を付けて解析します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで（予定）

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、試料は用いません。診療録および画像検査から、年齢、性別、腫瘍の左右、腫瘍の大きさ、腫瘍の広がり、嚢胞性成分の有無、手術前後の顔面神経の状態、手術前の聴力、手術体位、手術準備時間、手術時間、出血量、腫瘍の摘出度、手術後の MRI 所見、手術に関連する合併症、髄液漏、水頭症、手術後出血、髄膜炎、追加治療の有無を用います。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

本研究は昭和医科大学の単施設で実施し、研究で取得した情報を外部機関へ提供しません。

6. 研究組織

研究責任者

昭和医科大学医学部 脳神経外科学講座 新井 晋太郎

研究分担者

昭和医科大学医学部 脳神経外科学講座 清水 克悦

昭和医科大学医学部 脳神経外科学講座 松本 正樹

昭和医科大学医学部 脳神経外科学講座 諸藤 陽一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部 脳神経外科学講座 氏名：新井 晋太郎

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：0337848605